

国産農産物の革新的低コスト実現プロジェクト

1. 事業概要

食料自給率の向上を図るためには、外国産への依存度の高い加工原料用農産物等について、国産への需要代替を図ることが不可欠です。

このためには、加工適性に優れた米粉用米や収量性の高い飼料用米等品種の育成と土地利用型農業や施設園芸における低コスト生産技術の開発を一体的に実施し、実需者ニーズに応じた国産農産物の革新的な低コスト・省力生産体系等を構築することが必要です。

本事業は、国産農産物における革新的な低コスト・省力生産技術体系等を構築するため、以下の3課題を実施します。

- (1) 土地利用型農業における高加工適性品種の育成と低コスト生産技術の開発
- (2) 植物工場等園芸技術の省エネ・省力・低コスト化
- (3) 超多収飼料用米の育成と低コスト飼料生産技術の開発

今回は、(1)について公募を行います。

2. 公募研究課題別の研究開発内容、目標等

●公募研究課題：米粉に適した品種及び低コスト粉碎技術の開発

① 研究開発の具体的内容

製粉時に損傷デンプンの発生が低減される粉質性等を備えた水稻系統に多収性を導入し、加工適性を持ち、多収な米粉用品種の育成を行います。

また、加工適性を持つ品種と低コスト粉碎装置を組み合わせること等により、損傷デンプンの少ない米粉を低コストで生産できる粉碎・選別技術を開発します。

〈留意事項〉

研究成果を生産現場等へ迅速に普及・実用化させる観点から、研究グループに、都道府県普及指導センター、民間企業、協同組合等の機関（以下「普及・実用化支援組織」という。）を参画させてください。

なお、中核機関や共同研究機関に普及・実用化の活動を行う組織・部署を有している場合は、それを「普及・実用化支援組織」として位置付けて問題ありません。

② 達成目標（最終目標）

製粉時の損傷デンプンの発生が主食用品種よりも少なく、かつ、多収な米粉用品種を、早生・中生など異なる作期ごとに育成するとともに、損傷デンプンの発生を既存技術と同程度に抑えつつ、製粉コストの大幅な削減を可能とする米粉製粉技術を確立します。

③ 研究実施期間（予定）

平成25年度～平成29年度（5年間）

④ 平成25年度の委託研究経費限度額

27,418千円

3. 委託件数

原則として1件とします。

4. 問合せ先

上記の内容に関する問合せは、応募の締切りまでの間、下記において受け付けます。

なお、審査経過、他の提案者に関する事項、応募に当たり特定の者にのみ有利となる事項等にはお答えできません。また、これら以外の問合せについては、質問者が特定される情報等を伏せた上で、質問及び回答の内容を農林水産技術会議事務局のホームページにて公開させていただきますので、御承知おきください。

記

- 公募研究課題について
農林水産技術会議事務局研究統括官（食料戦略・除染）室 担当者 前田、和田
TEL：03-6744-2214
FAX：03-3502-4028
- 契約事務について
農林水産技術会議事務局総務課契約班 担当者 江橋
TEL：03-3502-7967
FAX：03-5511-8622

委託プロジェクト研究の公募説明会 参加申込書
(国産農産物の革新的低コスト実現プロジェクト)

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究統括官(食料戦略・除染)室 宛て
(fax: 03-3502-4028)

平成 年 月 日

該当委託プロジェクト研究名
国産農産物の革新的低コスト実現プロジェクト

研究機関等の名称:

参加希望人数: 人

所属・役職:

氏 名:

所在地:

連絡先: tel fax

e-mail:

その他:

注)「所属・役職」欄以降の記載に当たっては、当該説明会参加を希望する者のうち、連絡窓口となる1名について記載して下さい。